

ふたばの取組TOPICS

ふたばの地域学校協働活動

双葉郡の各校では積極的に多様な主体と連携した取組を進めています。
今年も様々な分野で外部講師にご協力いただきました！

久保田彩乃先生(福島大学)
によるインタビュー講座



富岡中学校

今泉理絵先生(桜の聖母短期大学)
によるマナー講座



なみえ創成中学校

ふたば未来学園OBの
山下啓輔先生・萩原聖也先生(明治大学)
によるバドミントン講習会



檜葉中学校+川内小+中学園

双葉郡地域学校協働本部

2015年に発足。双葉郡8町村の地域コーディネーターが連携して地域や企業団体との協働を進めるために立ち上げた、双葉郡の学校の『応援団』です。学校のニーズに合った外部講師の招へい等、町村の垣根を越えて情報を共有し合いながら、子どもたちの学びの場を広げています。



「ふたばの教育」の感想をお聞かせください！

本誌の第1号は2014年4月の発行。10年を経て、今回で第14号の発行となりました。今後も双葉郡の子どもたちの「今」を伝え続けます。
今後の誌面作りの参考にたく、QRコードより、是非皆さまのご感想・ご意見をお聞かせください。
※いただいたご意見などは、広報誌、当協議会ホームページなどで、個人情報を除いて公表する場合があります。

双葉郡の子どもたちへのエールも是非お寄せください。 8/8

アンケートは
こちらから！



「ふたばの教育」は、双葉郡の子どもたちの笑顔、各校の特色ある取組、8町村で連携した活動を伝える広報誌です。
8町村教育委員会を中心に構成する「福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会」が発行しています。

各町村の学校・教育に関するお問い合わせ

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| ● 浪江町教育委員会
☎ 0240-34-5710 | ● 富岡町教育委員会
☎ 0240-23-7555 |
| ● 葛尾村教育委員会
☎ 0240-29-2170 | ● 川内村教育委員会
☎ 0240-38-3805 |
| ● 双葉町教育委員会
☎ 0246-84-5210 | ● 檜葉町教育委員会
☎ 0240-23-5515 |
| ● 大熊町教育委員会
☎ 0240-23-7193 | ● 広野町教育委員会
☎ 0240-27-4166 |

双葉郡全体の取組や本誌に関するお問い合わせ

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 事務局
(公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構)
〒960-8043 福島県福島市中町1番19号 中町ビル6階
TEL:024-581-6897 FAX:024-581-6898
HP:https://futaba-educ.net/

ふたばの教育 vol.14 2024 春号

2024年2月27日発行
発行：福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会
編集：ICT活用・広報委員会(委員長：新田勇雄(双葉町立双葉中学校長))
執筆・写真：双葉郡内各校
撮影(P6～8)：フィリップ・ジェリーマン(双葉町外国語指導助手)
アンソニー・バラード(双葉町外国語指導助手)

双葉郡8町村各校の取組と子どもたちの今を伝える広報誌

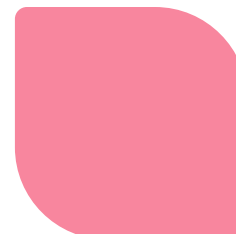
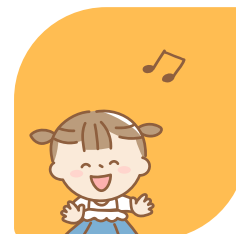
ふたばの教育

特集1. ふたばのせんぱい

特集2. ふたば生徒会連合が紹介！こんな行事があります



みらいへ
芽吹く、ふたば。



vol.14

2024 春号



特集1.

ふたばあせんぱい

双葉郡の学校を卒業した子どもたちは、進学したり、就職したり、様々な分野で活躍のフィールドを広げています。
今回はこのお二人に、双葉郡の学校での思い出、将来の夢についてインタビューしました！

Voice 01

あらき あきこ
荒木 明彦さん

25歳 富岡町役場職員

富岡町立富岡第一中学校 卒業

インタビュー
フルバージョンは
こちらから



6歳の
頃の私！



三春校での一番の思い出は、
自分達で作上げた
学習発表会です！

PROFILE

静岡県富士宮市出身。7歳の時に家族で富岡町に引っ越す。富岡町立富岡第一小学校6年生の時に東日本大震災で被災。その後の原発事故により静岡に避難。富岡第一・第二中学校三春校開校時に福島に戻る。國學院大学法学部を卒業後、富岡町役場職員となる。



今はどんな仕事をしていますか？

富岡町役場税務課で税に関する仕事をしています。住民の方の相談を受けて、よりよい回答が出せた時にやりがいを感じられる仕事です。

大学ではどんな勉強をしましたか？

法学部で法律を学びました。社会の仕組みは法律が元だと思っていたので、法律を学べば自分が生きていく中での選択肢が増えると考えました。今の仕事でも、何をやるにも法律はついて回るのだと実感しています。

富岡第一・第二中学校三春校での思い出を教えてください。

開校式で初めて三春校へ入った時は、いい意味で、他と違って学校っぽくないなと思いました。同級生は10人ほどで、少人数であるぶん、先生方との距離感が非常に近かったのですごく仲良くなることができ、コミュニケーションが取りやすかつ

たこともすごく印象に残っています。

一番記憶に残っているのは学習発表会です。先生方が指示するのではなく、自分たちで考えて作り上げるという部分が大きかったのも、とても楽しかったです。

将来の夢はなんですか？

役場の仕事はだいたい3年で部署が変わりますが、住民の方に寄り添えた時にすごく達成感を感じられるので、町の色々な業務を経験してみたいです。

役場以外の仕事もやってみたいという気持ちもありますが、震災がなかったら富岡町に戻って就職していなかったかもしれません。富岡町で就職したおかげで、職場の先輩方とか上司の方にも出会えたり、町への縁を感じています。

双葉郡の後輩にメッセージを！

相談できる人がいるということは大事な事なので、横でも縦でも、人とのつながりを大切にしてください。

どんな選択肢を選んでも後悔はします。嫌われることを恐れず、本当にやりたいことがあるのであれば、とにかくチャレンジしてみてください。

Voice 02

うらやま なつみ
浦山 夏美さん

19歳 大学1年生

福島県立ふたば未来学園高等学校 卒業

インタビュー
フルバージョンは
こちらから



4歳の
頃の私！



将来は子どもの成長に
関われるような
仕事がしたいです！

PROFILE

福島県田村市出身。田村市内の中学校を卒業後、ふたば未来学園高校へ進学。子どもの社会参画をテーマに未来創造探究の活動を進め、中止とはなったものの、令和4年度双葉郡小学校絆づくり交流会中学生実行委員会を立ち上げ、企画・運営に携わった。卒業後、宇都宮大学地域デザイン学部へ進学し、まちづくりについて学んでいる。



大学ではどんな勉強をしていますか？

地域創生やまちづくりについて、多方面から学んでいます。小学生の時に参加した地元のイベントがきっかけでまちづくりに興味を持ちました。ふたば未来での探究活動でもまちづくりや子どもの社会参画に携わっていましたが、やはり専門知識が不十分だと感じ、まちづくりに特化した学科を選びました。

卒業したふたば未来学園はどんな学校でしたか？

やっぱり他とは違ったことができる高校だったと思います。大学に入ってから高校の話をすると「そんな高校があるんだ!」、「そんな活動してたんだ!」と驚かれます。幅広いことに携われて、色々なことに関わることができるのがよいところです。地域の方々も、先生方も、非常に個性豊かで、そういう方々と触れ合えることも強みだと思います。

企画・運営に関わったR4年度の双葉郡小学校絆づくり交流会は中止となってしまいましたが、今年度は後輩が思いを引き継ぎ、企画・運営に関わってくれましたね。

中学生実行委員会を立ち上げましたが、結果的に中止となり、ずっとコロナと戦い続けてきた高校生活だったので、ここまで来

てまた負けるのかという悔しさがありました。

今年度、たくさん子どもたちが体育館に並んでいる姿を見た時はめちゃめちゃ嬉しかったです。引き継いでくれた後輩たちが子どもたちの前ではきはきと話す姿を見て、「すごい! カッコいい!!」と思いつつ、「あの場に自分が立ちたかった」とうらやましくも思いました。

将来の夢はなんですか？

まだ漠然としていますが、やっぱり子どもの教育には携わりたいなと思います。学校の先生ではなく、外から子どもたちの成長に関わるような職につけていたらいいなと思います。

双葉郡の後輩にメッセージを！

色々なことに興味を持ってほしいです。今だとそんなに言われないかと思うのですが、双葉郡に限って言えば、「復興を担う」という言われ方をすることが多多いと思います。それは気にせず、自分が興味あること、好きなことやってほしいと思います。外にも視野を広げてみてください。

高3の文化祭で！



ドイツでできた友だちと！

※富岡第一・第二小中学校三春校：避難先の田村郡三春町で2011年9月開校、2022年3月閉校。

特集2.

ふたば生徒会連合が紹介！ こんな行事があります

双葉郡8町立中学校（義務教育学校含む）とふたば未来学園中学校・高等学校の生徒会で構成される「ふたば生徒会連合」の活動は、7年目を迎えました。Zoomを活用して定期的実施するビデオ会議「ふたばミーティング」に加え、今年度は7月に対面での会議も開催でき、よりつながりが深まった一年となりました。今回はメンバーが、各校の特色ある学校行事を紹介します！

ふたばミーティング



7月の対面会議

なみえ創成中学校生徒会

毎週月曜日の6校時終了後に全校生徒が集まり、交流する「創成タイム」があります。生徒会を中心に、月に一度のEnglish Timeや自分が読んでおすすめしたい本の紹介などの活動を行っています。また、12月には今年の漢字の予想やクリスマスイベントを行いました。



葛尾中学校生徒会執行部



今年度は地域の方を呼んで小中合同でコンサートを行いました。合わせてチャリティーも行い、村民の皆さんに元気と笑顔を届けることが出来ました。



富岡中学校生徒会



楽しみながら体力面や健康面の向上を目指し、プロアスリートやそれをかかげて支える料理人などをお呼びし、スポーツをしたり、食事や健康について考えたりする授業を行っています。桜のように笑顔が満開です！

川内小中学園生徒会



川内小中学園では、小学生と中学生が合同で文化祭（清流祭）を行います。清流祭では、毎年小中学生が協力して、ビッグアート（ちぎり絵による巨大アート）を作ります。今年は「Wings of Hope」をテーマにした作品です。

檜葉中学校生徒会本部

檜葉中学校では、サッカーやバスケットボールなど、さまざまなスポーツを外部講師の方をお招きして、楽しく試合や練習を行う3C(Change, Challenge, Connection)プロジェクトという活動を行っています。



広野中学校生徒会執行部

「いじめゼロ運動」を行っています。全校集会を開き、学校スローガンといじめゼロに向けた取り組みを決めました。全校生で「Good Action Tree」を作り、全校生にとって学校が楽しくなる工夫をしました！



双葉中学校生徒会本部



夏休みに友好町である京都府の京丹波町の中高生と交流しました。みんなでバドミントンをして仲良くなりました。



学び舎 ゆめの森生徒会執行部



本校では創造的演劇教育に力を入れています。10月に全校生合同で演劇発表を行いました。一般の方もお招きし、児童・生徒・教職員が丸となって演じ、見てくださった方に感動を届けることができました。



ふたば未来学園中学校生徒会執行部



芸術発表会という行事があります。これは、各学級の合唱や美術の授業での作品紹介ムービー、高校音楽科教員の歌唱披露など、さまざまな芸術を味わう機会になっています。



ふたば未来学園高等学校生徒会執行部



私たちは10月にクラス対抗球技大会を開催しました。競技はバレー、バスケ、卓球でコロナ明け初めての球技大会を全校生徒で楽しむ事ができて良かったです。



01 レポート 第6回 双葉郡小学校絆づくり交流会

2023年7月31日(月) in 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)

新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年間中止となっていたが、
今年は4年ぶりに児童208名が大集合!



従来の先生方の実行委員会に加え、ふたば未来学園の高校生2名が中心となり、中高生実行委員会が正式に発足! 川内小中学園、楡葉中学校、ふたば未来学園の中学生が参加し、実行委員としてプログラムの企画・運営を行いました。中には小学生の時に交流会に参加していたという中学生も!



当日は20名近くの中高生ボランティアも運営サポートとして参加。

前半は学校や学年がばらばらのチームに分かれ、広いアリーナで体を動かしました。



後半は低学年、中学年、高学年ごとの会場に分かれ、交流活動で絆を深めました。



絆づくり中高生実行委員会リーダーインタビュー



鈴木 七海さん 菅野 胡桃さん
ふたば未来学園高校2年生

Q 聞きたいと思ったきっかけは?

七海さん
実行委員募集のチラシを見て、自分の探究学習のテーマが小学生に関わるものだったので、何かヒントが得られるんじゃないかと思いました。

胡桃さん
ふたば未来学園の先輩が去年、中止になってしまったけど、企画をやっていたと聞いて、私たちが実現できたらと思いました。

Q 終わったあとの感想は?

七海さん
小学校の先生に「子どもたちが楽しかったって言ってたよ。ありがとう!」と言われて嬉しかったです。当日、色々な人と同時進行で関わりながら指示を出したり、すごく大変だったけど、小学生の笑顔も見え、思い出作りに関わることができて、大変だったけど幸せ!という感じ。

胡桃さん
年代も考えも違うメンバーとの事前ミーティングを仕切ったり、ルールを考えたり、準備期間は「怒涛の日々」だったけど、子どもたちの笑顔が見れてよかったし、そういう進路に進みたいと思っていたので、実行委員の校長先生に「小学校の先生に向いてるよ!!」って言われて嬉しかったです。

02 レポート 第8回 双葉郡中高生交流会

FUTABA 1DAY SUMMER SCHOOL

2023年8月3日(木) in 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)

総勢312名!!

4年ぶりに、普段の学校生活の中ではできない体験をしながら、町村や世代を超えた交流を通じて学ぶサマースクールが、対面での開催となりました!
講師は例年どおり「ふたばの教育復興応援団」の秋元康さんがプロデュース!
双葉郡内外の中高生が6つのクラスに分かれ、特別講師の皆さんとあつい夏の日を過ごしました。



A組

講師:古市 憲寿さん(社会学者)
頑張らないことの大切さ

古市先生から肩の力を抜いて楽に考えるコツを学びました。



参加した生徒の感想

人それぞれ適した生き方があるということがわかりました。未来について考える時間が面白かったです。

C組

講師:和田 秀樹さん(精神科医)
本物の「頭のよさ」ってなんだろう?

和田先生から目的に合った正しい勉強の仕方を学びました。



参加した生徒の感想

私は失敗を恐れてしまうので、失敗し改善することが大切ということを聞いて良かったです。ありがとうございました。

E組

講師:齊藤 京子さん(日向坂46)
佐久間 宣行さん(テレビプロデューサー)
出張オールナイトニッポンにゲスト出演?!して、人気者になろう!

齊藤先生と佐久間先生から、人気者になる秘訣や自分の個性の活かし方を学びました。



参加した生徒の感想

自分のコンプレックスもポジティブに考えると自分の個性になる、強みになるということがとても心に残りました。

B組

講師:小藪 千豊さん(お笑いタレント)
エピソードトークの上手くなる方法と悩みに対処する方法

小藪先生に日頃の悩みを相談してアドバイスをいただきました!



参加した生徒の感想

「今のうちに親にできることを少しでもやってほしい」とおっしゃっていたことが、一番心に残りました。今からできることを精一杯やっていきます。

D組

講師:鎧塚 俊彦さん(パティシエ)
桃のロールケーキを作ろう!

鎧塚先生と一緒にロールケーキづくりに挑戦しながら、仕事、生きがいについて学びました。



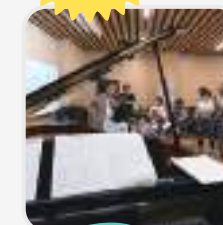
参加した生徒の感想

「基本が大事」という事を教えてくれてありがとうございました。授業はとても面白かったです。また来年も来て欲しいです。

F組

講師:小室 哲哉さん(音楽家)
未来を曲で繋ごう

曲作り班・歌詞づくり班に分かれ、小室先生と一緒に楽曲づくりに挑戦しました。



参加した生徒の感想

普段、講義をいただくことができない方と実際に会って一緒に触れあって話をしたり、考えたりして自分の気持ちを言葉に表現することができ、貴重な体験ができて楽しかったです。

03 レポート 第10回 双葉郡ふるさと創造学サミット ～伝えあい、つながって、広がる ふるさとふたばの学び～

2023年12月2日(土) in 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)



4年ぶりの完全対面開催となり、513名の児童生徒が
ふたば未来学園に集結しました!!
YouTubeでのライブ配信も行い、県内外から多くの方々にも視聴いただきました。

オープニング・セレモニー、クロージング・セレモニー

今年度もふたば生徒会連合がオープニング・セレモニーとクロージング・セレモニーを企画運営。オープニングでは、昨年度よりボリュームアップした「双葉郡の魅力〇×クイズ」を行い、大盛り上がりでした。クロージングでは、たくさんの児童生徒が手を上げて、参加した感想を共有しました。突然の大喜利には会場がたくさんの笑いで包まれ、閉会宣言には大きな拍手が起こりました。



学びあいセッション

1セッション30分で、前半15分は自分たちの学びの発信、後半15分は参加者を交えた対話の時間とし、10か所の会場に分かれて計4回、併せて40セッションが行われました。



発表したみんなの感想は..

自分達だけでは思いつかなかった課題や問題点などを他の学校と共有できて、良いものにできました。

思った以上に人がたくさんいて緊張したけれど、話し合いの色々なことが知れて、発表や話し合いが好きになりました。

緊張して発表できるか不安だったけど、ちゃんと対話の時少し話を続けられたのが良かったです。練習の成果が出ました。

ちゃんと声や言いたい事が相手に届いているか、心配でした。けれど、真剣に話を聞いてくださったり、質問を出してくださったりして、とても嬉しく思いました。

「ふるさと創造学」とは

自分の未来を自分で切り拓いていく力を育む探究的な学び、それが双葉郡8町村でともに取り組む「ふるさと創造学」です。地域のひと・もの・ことを題材に、課題やテーマを設定し、情報を集め、整理・分析して考え、まとめて表現するプロセスを通して、自らの考えを深めていきます。各校のふるさと創造学で学んだことを、子どもたち同士が互いに伝えあう場が、このふるさと創造学サミットです。

各校からの
レポート!

ふたばの学校の“いま”

双葉郡の各校は、それぞれの町や村で、避難先の地域で、日々の学びや行事に活発に取り組んでいます。学校の規模や町村がおかれた状況はそれぞれ異なりますが、双葉郡教育復興ビジョンのもと、8町村が連携した取組も継続して行っています。
次ページからは各校からのレポートをお届けします!

FUTABA SCHOOL MAP

(2024年2月現在)

※福島県立浪江高校、浪江高校・津島校、双葉高校、双葉翔陽高校、富岡高校は休校中。

※浪江町立請戸小は閉校後、震災遺構として2021年10月から公開中。



ふたばの教育
を知る
キーワード

8町村で取り組む 「双葉郡教育復興ビジョン」

子どもたちの「自ら未来を切り拓く力」を育むため、双葉郡の各校ではそれぞれの個性を生かしつつ、町村や世代の垣根をこえてつながり、双葉郡独自の魅力的な教育を進めています。

1. ふるさと創造学

「震災を通じ子どもたちが得た経験を、生きる力に」との思いから始まった、地域のひと・もの・ことを題材にした探究的な学習の総称です。双葉郡の学校全校で取り組んでいます。

2. 地域との協働

地域の人々との出会いが子どもたちの学びを充実させ、子どもたちの活動が地域を元気にする、そんな相乗効果を目指し、積極的に多様な主体との協働を進めています。

3. 教育を通じた絆づくり

8町村合同の交流会、小中高合同のふるさと創造学サミット、ふたば生徒会連合の活動など、学校を中心とした、町村や世代を越えたつながりを作ります。

浪江町立 なみえ創成小学校

双葉郡浪江町大字幾世橋字来福寺西73
HP <https://namie.fcs.ed.jp/>

ホームページは
こちらから



浪江町子ども議会

本校に植えてあった
メタセコイアの木を
材料に、ベンチを
全校生でつくりました。



修学旅行「東京方面に行ってきました。」



福島大学陸上部の陸上指導



今年度の
ふるさと創造学では

焼き物がつなぐ町民
の絆「大堀相馬焼」を
つくりました。



子どもたちの生きる力と夢を育み、 地域の未来を切り拓く学校

開校6年目、全校生徒25名で、重点目標の「何事にも挑戦し、協力して課題を解決しようとする生徒」を目指して、学校生活に取り組んでいます。

第2回目の校内文化祭
「海鷗祭」です。前年度より
パワーアップし、様々な教科
での学習を発表しました。



総合的な学習の時間で、
1年生は「わが町なみえを知ろう」をテーマに浪江町の
各地区を町歩きしました。



毎学期に行っている
哲学対話です。
今回は、どんなテーマ
で意見を交換し合っ
ているのでしょうか？



演劇
ワークショップ



今年も、国の伝統
工芸品に指定
されている
大堀相馬焼体験
をしました。



小中合同運動会

総合的な学習の時間
で、3年生は「地域
の方々と交流できる場
をつくりたい」という
思いから、「浪江町運
動交流会」を企画し、
運営も行いました。

今年度の
ふるさと創造学では

「わが町なみえに生かそう」を
テーマに3年生は、修学旅行で
日本橋ふくしま館MIDETTEで浪
江町のPR活動をしてきました。



総合的な学習の時間
で、2年生は
「わが町なみえに
学ぼう」をテーマ
に職場体験を行
いました。

葛尾村立 葛尾小学校

双葉郡葛尾村大字落合字西ノ内50
HP <https://www.katsurao.org/site/es/>

ホームページは
こちらから



学習旅行では
たくさんの動物たち
と出会いました。



地域の人たちと一緒に
行った田植えや稲刈り、
意外と難しい！



なりたい自分に向かって Let's Challenge!

全校児童12名、村民のみなさんに笑顔を届けるため、なりたい自分に向かって
様々なことにチャレンジしています！

村に笑顔を届けようをテーマに行った
スクールフェスタは大成功!!!



小学校と中学校が合同で入学式を行います。
みんなで新入生を迎えました。



保護者の方々、地域の方々と協力して、
きれいな花で村を彩ります。

今年度の
ふるさと創造学では

葛尾村に移住してきた人や村の
復興に関わる方々に話を聞きました。
葛尾村の良さをもっと
たくさんの人に届けたいです。



ボランティア活動で、村のお年寄りの
方々と楽しく交流しました。



葛尾村立 葛尾中学校

双葉郡葛尾村大字落合字西ノ内50
HP <http://www.katsurao.org/site/jhs/>

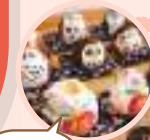
ホームページは
こちらから



対話から自己の考えを深められる葛尾中生

葛尾村から、SDGsの取り組みに力を入れ、自分たちに出来ることを福島県、
全国、世界に目を向けて発信しています！

タンポポの研究で、日本学生科学賞
「読売新聞福島支局長賞」受賞



売上金全額を
社会福祉協議会、ユニセフへ寄付

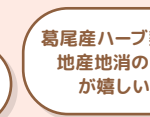


張子の
完成！

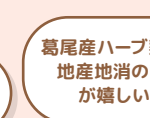


形を整え
ます！

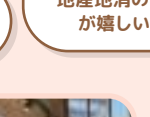
招き猫の絵付け



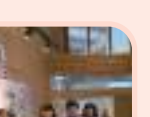
シュレッダー
ゴミで張子作り



凍み餅クレープ



葛尾産ハーブ鶏など
地産地消の献立
が嬉しい！



年に5回、園児に書道
指導で学び合い

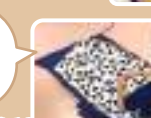
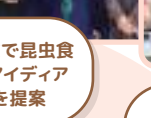
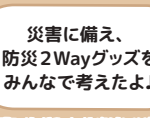
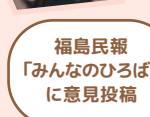


復興交流館
「あぜりあ」に
学習成果物を展示



えごまアイス

凍み餅ハットグ



作文で昆虫食
のアイデア
を提案

福島民報
「みんなのひろば」
に意見投稿

災害に備え、
防災2Wayグッズを
みんなで考えたよ！

水の作文
コンクール 優秀賞

文芸部
「みんなのひろば」
に意見投稿

パソコンで
データを
まとめます

双葉町立 双葉南・北小学校

いわき市錦町御宝殿56
HP <http://futabanankokusyo2014.blog.fc2.com/>

ブログは
コチラから



車椅子バスケ体験を通して、バリアについて学びました。



3年生を中心にみんなで楽しめる遊びを考えて、ふたば幼稚園の児童と公園で交流しました。

考え・伝え・なかよく活動

2014年いわき市で学校を再開し、10年目を迎えました。「考え・伝え・なかよく活動」を重点目標に、全校児童24名が夢や希望に向かってがんばっています。



梅檀祭では、中学生と一緒に、双葉町の伝統の標葉せんだん太鼓の演奏を披露しました。

浅野燃系の隣にある、
直営のタオルショップや
カフェを見学してきました。



今年度の
ふるさと創造学では

双葉町の復興に向け、
操業を開始した
浅野燃系の工場を
見学してきました



双葉町立 双葉中学校

いわき市錦町御宝殿56
HP <http://futabajh.blog.fc2.com/>

ブログは
コチラから



今年はダンスに
挑戦しました。



文化祭(梅檀祭)では、総合の発表と太鼓の演奏をしました。

伝えよう私たちの想いを！みんなでつくる双葉町

「自分の考えを豊かに表現し互いに高め合う生徒」を目標に、全校生徒13名が力を合わせて、明るく元気に学校生活を送っています。

「ふくしま
ゼロカーボンへの
挑戦表彰制度」で
特別賞を
受賞しました。



「ふくしまゼロカーボン宣言」
に全校生徒で取り組みました。校外体験学習では、東京で体験・見学を行いました。



レゴシアスプレイ
を通して、
コミュニケーション
能力やファシリテー
ションテクニックを
身につけました。



今年度の
ふるさと創造学では

双葉町に関連する事業所で職場体験をし、
復興に向けた取り組みや想いを伺いま
した。そして、その想いや体験を通して私た
ちが感じたことから、学生でも復興に携わ
ることのできる方法について考えました。



大熊町立 学び舎 ゆめの森

双葉郡大熊町大川原南平2019-1
HP <https://manabiya-yumenomori.ed.jp/>

ブログは
コチラから



「ミーツザワールド」の様子です。オンラインで
世界の人とお話しました。



会津自然の家で火起こしをして、
おいしいカレーを食べました。

スポーツフェスティバルでは、地域の方々と
みんなで汗を流しました！
みんなで大熊町の特産品の鮭になりました！



地域の方々と
一緒にゴミ拾いを
しました。



「わたし」がはじまる場所

12年ぶりに大熊町に帰ってきて最初の年！
自由に学べる広々とした校舎の中で、自分も相手も大切に、楽しく活動しています！

演劇公演。とっても
緊張したけど、日本一、
いや世界一の演劇が
できました！



室屋義秀さんが学校で「ゆめ」をもつことの
大切さを教えてくれました。

室屋義秀さんが学び舎ゆめの
森の上に、飛行機でニコちゃん
マークを描いてくれました。



演劇舞台裏。
衣装もメイクも
ばっちり！

今年度の
ふるさと創造学では

本校では「ネイチャラボ」
という大熊町の自然から
学ぶ活動をしています。
動物班、花班、野菜班、
未来プロジェクト班に
分かれて1年生から
9年生までの全校生で
発表・交流を行いました。



富岡町立 富岡小学校

双葉郡富岡町大字小浜字中央237-2
HP <https://schit.net/tomioka/tomioka12es/>

ブログは
こちらから



「木工教室」
引き出しつきBOXを作りました。

ハロウィンで中学生に
英語で話しました。



心も一つに ~We are the one~

学校行事やイベントを通して、学年や小中学校の垣根を越えて学習しています。
地域の方々の協力にも支えられながら、がんばっています！



EIP9でダンス！
全身使ってジャンプ！



森の案内人から自然の
秘密を学びました。



今年度の
ふるさと創造学では

富岡町の魅力や
産業について、
調べました。



富岡町立 富岡中学校

双葉郡富岡町大字小浜字中央237-2
HP <https://schit.net/tomioka/tomioka12jhs/>

ブログは
こちらから



お互い本気の
ラグビー教室！！



文化祭で
よさこいを
全力で
踊りました！



文化祭での風童とみっこ太鼓の成果発表

今年度の
ふるさと創造学では

町の福祉施設で
車いす体験を
させてもらいました！



実際に
つくってみた！



西芳照シェフと一緒に、
富岡産玉ねぎでメニューを考えました。

川内村立 川内小中学園

双葉郡川内村大字上川内字沼畑125
HP <https://schit.net/kawauchi/kawauchi-c/>

ホームページは
こちらから



給食もみんな
いただきます！



1～9年生が混ざった班で
体力テスト！

伝統の
全校南中ソーラン節！！



5年生が、北海道士別市に
交流学习にいきました！



今年度の
前期課程
ふるさと創造学では

村を盛り上げるため
に、自分たちができ
ることを考えました！



生徒会主催の球技大会！
上級生が下級生にやさしく
教えてあげています。



人権について
考えている本校。
どんな人でもできるスポーツ
「ボッチャ」を体験！



清流祭のフィナーレは
全校合唱です！



今年度の
後期課程
ふるさと創造学では

これまで学んできた
東日本大震災と
キャリアについて
発表しました！



ステップ期（5～7年生）で、生活についての発表をしました！

榑葉町立 榑葉小学校

双葉郡榑葉町大字下小崎字麦入31
HP <https://sites.google.com/fcs.ed.jp/narahaminamikita-e>

ブログは
コチラから



みんなを見守る大白鳥



グワ!

歴代記録
に挑戦!



N(榑葉)N(長縄)C(クラシック)



6年生セレクト! ぼくたちの学校自慢!

今年の教育目標は「かしこく やさしく たくましく〜challenge change〜」。
よく聞き よく考える子を目指し、全校生134名でなかよく過ごしています!

先生と一緒に全校合奏に
挑戦しました!



学習発表会

力をあわせて
さあ行こう!



運動会

他の学年とも
なかよし!



今年度
の

ふるさと創造学では

榑葉町の名産、ゆずの地産地消のため、様々な商品を試作してPR動画を編集し、町のYouTubeで公開しました。写真は、試作品を作っている様子です。

ゆずの
地産地消へ!



広野町立 広野小学校

双葉郡広野町中央3丁目1
HP <http://hironosyou.blog.fc2.com/>

ブログは
コチラから



地元の農家さんを訪問!
お米作りにアヒルが役立っ
ているだね!(体験学習)



「全力で 広野の風を かけぬけろ!」
お前たち、気合いは
入っているか〜!? (運動会)



笑顔と元気で未来をつくる!

「かしこく やさしく たくましく」を合い言葉に、全校児童147名で
楽しく学校生活を過ごしています。

広野から生まれた童謡
「貝がらと風」を歌ったよ!
(ひろの童謡まつり)



ブリティッシュヒルズで異文化体験!
どっぷり英語漬けの2日間でした。

今年度
の

ふるさと創造学では

広野町の魅力と課題に
ついて調べ、解決策を考
えました。



広野町立 広野中学校

双葉郡広野町下浅見川築地12
HP <http://hironochuweb.blog.fc2.com>

ブログは
コチラから



「地元」と「全国」が交差する広野中(学校)

ふと顔を上げるとみかんの丘が広がる広野中学校では、にぎやかで明るい生徒たちが
お互いに成長できるように学び合いながら活動しています。

大迫力の全校ソーラン!
やりきった!



グローバルデーでは留学生と交流も

いじめゼロ運動、
始動!



今年度
の

ふるさと創造学では

広野町活性化の
ためにこのような
提案をします!



榑葉町立 榑葉中学校

双葉郡榑葉町大字北田字鐘突堂2-1
HP <https://sites.google.com/fcs.ed.jp/naraha-j>

ブログは
コチラから



こうした方がいいかなあ・・・
ここは、もっとこうしよう!!
みんなで意見を出し合いました。



開発した商品を、榑葉町の
イベント「ならSUNフェス」
で販売しました。

文化祭とキャリア教育での活動の様子

全校生徒の仲が良く、各種行事では、全校生徒一丸となって取り組みます。
文化祭やキャリア教育の活動を通して、先輩から後輩へ伝統が引き継がれていきます。

よさこい演舞直前
最後まで、楽しんで
踊りきりましょう。
絶対成功させるぞ〜!
おー!



文化祭で披露する天神太鼓は、先輩から
後輩へ引き継がれる伝統のひとつです。



今年度
の

ふるさと創造学では

全国の皆さんに笑顔になってもらうために榑葉町の特産品を使った商品を開発し、各所で販売活動を行っています。写真は、「日本橋ふくしま館MIDETTE」での販売の様子です。



福島県立 ふたば未来学園中学校

双葉郡広野町中央台一丁目6番地3
HP <https://futabamiraigakuen-h.fcs.ed.jp/>

ホームページは
こちらから



学習した英語表現などを実際に活用する力を身につけるグローバル・スタディ。世界でも通用する表現力を、実践しながら学んでいます。



自らのビジョンを掲げ、社会を牽引している変革者との出会い、変革者の価値観、創造力、組織行動力を学んでいます。

地域へ、世界へ、グローバルな視点をもつ リーダーをめざしています

建学の精神「変革者たれ」のもと、未来創造学やグローバル・スタディ、演劇ワークショップ、哲学対話を通して、未来を拓く学習に取り組んでいます。



「協働国際発信プロジェクト」海外研修で異文化の同世代に向けて発信します。※写真は昨年度。今年度は2024年3月に実施予定。

地域の魅力を発見・発信する未来創造学。集大成として、世界に向けて発信します。



問いに対して共に考え、対話することで思考を深める哲学対話。対話を通して、他者を認める心、多面的・多角的に物事を捉える力が育っています。



2時間で創作し全員の前で表現する演劇ワークショップ。協働・創造の力とコミュニケーション力が育っています。

今年度の ふるさと創造学では

双葉地区を「第2のふるさと」として思いを馳せ、学年ごとに価値のある「ふたばのよさ」に着目し、探究やプロジェクトの発信を行っています。



福島県立 ふたば未来学園高等学校

双葉郡広野町中央台一丁目6番地3
HP <https://futabamiraigakuen-h.fcs.ed.jp>

ホームページは
こちらから



語り部事業の一環として震災当時についての紙芝居をお台場で披露しました。手話を使いながら紙芝居を披露しました。



津波遺構の高野会館を見学しました。単に避難マニュアルに従うのではなく、その場で危険を正しくイメージできるかが生死を分けたということが分かりました。



南三陸311メモリアルでランニングプログラム「生死を分けた避難」を受けました。映像証言で戸倉小学校の高台避難と神社の境内で児童たちが一晩過ごした話が印象的でした。



石巻では、多くの児童が亡くなった大川小学校でお話を聞きました。たくさん子どもたちが犠牲になったことを知り、大災害が起きた時の判断の難しさを感じました。



広島研修

カクワカ広島さんが経営されるカフェ、ハチドリ舎でワークショップをしました。崇徳（そうとく）高校新聞部さんとも議論を交わし様々な新しい発見があり、とても良い交流になりました。



広島研修

広島が乗り越えてきた歴史・文化から学ぶことが非常に多く、探究活動を通じて私たちが福島をより良く変革していきたいと思いました。



広島研修

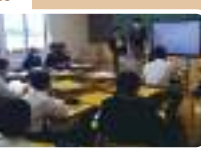
平和記念公園フィールドワークでは爆心地、原爆ドーム、原爆供養塔、韓国人慰霊碑などを前にして、私たちが経験したものを後世に残し伝えていくことの大切さを学びました。



「大熊町の再生土壌」についての討論会に参加してきました。他校の人と話をすることで、自分たちの考えもまとまってきました。

今年度の ふるさと創造学では

地域課題解決のための探究とその実践に取り組む「未来創造探究」では、中高合わせて300を超えるプロジェクトが進行中。



福島県立 富岡支援学校

小学部：いわき市平馬目字馬目崎61
(聴覚支援学校平校敷地内・仮設校舎)
中・高等部：いわき市四倉町字五丁目4番地
(四倉高等学校内)
HP <https://tomioka-sh.fcs.ed.jp/>

ホームページは
こちらから



榎葉町のしろはとファームさんから頂いたさつまいもの苗を大切に育て、小学部全員でいもほりをしました。大収穫!!

中学部



電車で榎葉中学校から交流に来てくれたよ。別れの会では、それぞれの学校で作ったプレゼントを交換したよ。



学校祭の中で作業製品販売会を行いました。久しぶりの全校開催ということもあり、たくさんの方に製品を購入していただきました。

高等部

今年度の ふるさと創造学では

自分の学校のことを調べ、伝えました。作業製品についての情報交換も行いました。



地域と共に学び、共に育む「豊かな心」

避難先での学習活動も12年目を迎えます。42名の子どもたちは、「これまでとこれから」を大切に、将来の自立と社会参加に向け、日々の学習に励んでいます。



新校舎への移転・再開に先立ち、令和6年4月から、「福島県立ふたば支援学校」に校名が変わります。双葉地区の特別支援学校として、一人一人の多様な学びの充実と、豊かな心の育成を目指していきます。



また、令和7年1月には、榎葉北小学校跡地に、新校舎が完成し、移転再開を予定しています。地域と共に学び、共に育み合う学校を目指して準備を進めています。



「ふたば支援学校」に校名がかわってもよろしくおねがいします。

